

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹はうす松江		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 18名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	床で過ごす(豊文化を大切にしている)ことで、手や足からの五感を養うとともに体幹や四肢の筋力アップを図っている。視野を広げ、視力を育てる。	屋内活動中は、裸足で過ごしている。 安全なおもちゃを手に取れるところにおいている。	新規の保護者、スタッフとも床で過ごす(豊文化の)意義を共有していく。
2	冬野事業所(幹らんど)との交流ができる。	これまで以上に利用児たちが、子ども社会での交流が図れるように機会を増やしていく。	計画的に取り組んでいく。
3	研修への参加方法が選択できる。	WEB参加や録画視聴など研修の履修や復習ができる環境である。	研修での学びや感想をスタッフ間で共有し、興味を引き出すなど自己研鑽につながる支援を事業所全体で取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	健常児と交流できる機会が秋祭りなどのイベントのみである。	感染症の懸念(状況をみて判断していく必要がある)	利用児のきょうだいやスタッフの子どもたちとの交流機会を検討していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		絆はすう松江		公表日		2025年 2月 14日			
		利用児童数		10名		回収数		9名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	3					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1			・体調を崩すことなく、居心地良さそうです。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			1	・成長と共にどの様に子どもと接しているか、家庭ではどのように接したら良いかなど詳しく聞きたいです。	・お子様の発達段階に応じた遊びの提案など、訪問看護部門とも連携して適切にアドバイスできるよう関わります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	2	2	・色々な子ども達との交流もしてもらいたいです。感染のリスク等の不安もある。	・今年度は幹らんと交流をもちました。双方の管理者、保育士が連絡を取り合い安全性が高い時期を選択しています。今後も注意していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2		1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2			・事業所での行動をみて、家庭ではどのように接したら良いかアドバイスが欲しいです。	・送迎時では十分な時間が確保されていないので難しいですが、臨時で面談なども可能です。いつでもスタッフにお問い合わせください	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1		3	・保護者の方と交流の機会があれば、子育ての面での意見等を聞いてみたいです。	・3月に幹らんと交流があり、保護者の皆様も参加可能です。Caféも併設されていますので、ぜひご利用ください。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1	・ゆっくり面談等ができる機会があれば、教えていただきたいです。	・事前にご都合のよい日時を教えてください。調整することは可能ですので、お気軽にお声がけください。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			1	・通う前に見学に行った際、訓練の様子も一緒に見学させていただきました。	・避難訓練、災害訓練は定期的におこなっています。詳しい説明をご希望の場合はスタッフにお声がけください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				・事業所の方に到着してからも泣くことなく、事業所の方と接しています。	・体調や気分など、その日のコンディションを見ながら丁寧に関わっていきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				・他の子ども達と接したり、遊んでもらったりするのが楽しいようです。	・できるだけ子ども同士で関わりがもてるように支援しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		幹はうす松江				公表日	2025年 2月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16	2	・ 医ケア児やその日の利用児に対して、臨機応変に対応できている。 ・ 利用児の増減に対し、直前までスタッフの調整をしている。	・ 時間帯や活動内容によって、手が足りないと感じることもある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	1	・ 玄関にスロープあり。 ・ 完全なバリアフリーにはなっていないが、工夫している。 ・ 絵や図で明示がある。 ・ 危険な電化製品や医療器具などの対応ができています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	1	・ なるべく床で広々とした空間での生活ができています。	・ 床での活動が多くなりがちな環境である。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	0	・ 食事と午睡の空間を分けている。 ・ 集中できるよう静かな環境を好む児の場合は、別室で対応することもある。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	3	・ 週1回のカンファレンスや適宜必要な時に話し合える場も設けている。	・ PDCAサイクルがよくわからない。今後学習していく。 ・ 積極的に参加できていない。今後、参画していく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	・ 申し送りノートを活用したり、必要時話し合いをしている。 ・ 毎年意見を聞き、改善している。 ・ 保護者のアンケート結果をまとめ、スタッフに配布されている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	1	・ 申し送りノートの活用			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4	・ 第三者評価は受けていないが、行政指定の自己評価で保護者の意見を聞いている。 ・ 見学を含め、オープンにしており、外部の方から意見をもらっている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0	・ いろいろな研修は開催され、録画視聴も可能な研修もある。 ・ 外部に限らず、職員からも専門的な話を聞くことができる。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	1	・ 季節の行事は工夫されている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	0	・ 成長発達の振り返りなどでできている。 ・ 定期的に保護者と面談し、計画書の見直しや作成がされている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0	・ 訪問看護で得た情報を共有しながら、計画にも活かしてもらえるよう働きかけている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	・ 印刷した計画書を個人ファイルで保管し、スタッフがいつでも見れるようにしている。	・ 計画が可視化されるとわかりやすい。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	0		・ 標準化されたツールを自分自身が理解できていない。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	1	・保育士が中心となって実施できている。 ・保育士を中心に指導員、看護師の意見も参考に計画している。 ・毎月スタッフ間で相談し、大まかな活動内容を決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	1	・季節のプログラムや戸外活動など工夫している。 ・毎月スタッフ間で相談し、大まかな活動内容を決定している。 ・行事や季節ごとの活動があり、社会見学や遠足、語りの森の訪問もある。	・固定化されやすい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	0	・申し送りノートの活用 ・子どもの登園前に確認し合っている。 ・朝一に個々のケアについて処置の確認や保育士に1日の流れを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	・申し送りノートを活用し、全体共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	1	・自施設から一般保育所に移行した児に対しては、よく知ってくれているOTが会議に参加し、園での過ごしやすい環境整備など話しあっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17	0	・就学支援や保育所等訪問をすすめている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	1	・情報共有をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	4	・家族から情報を得ている。	・次年度が初めて就学以降になる。 ・和歌山市の就学までの流れやシステムについて知識を深めていく必要がある。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	4	・愛徳医療福祉センターと連携している。		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	7	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩やお買い物体験などを通して、地域との交流を図っている。 ・秋祭りで地域の子どもと交流 ・幹らんの利用児との交流 	機会がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	17	0	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を伝えて共有している。 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	4	<ul style="list-style-type: none"> ・研修のお知らせをしている。 	・機会が少ない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・そのための時間をとり、話し合う機会がある。 	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度で冬野の事業所と合同のため、自施設単独で開催できるようにしていく。 ・次年度あたりに父母の会など開催できたらいいと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の写真や動画を保護者と共有するためにSNSを活用している。 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会の方が訪問してくれている。 ・防災時の対応など自治会長さんと情報共有できている。 ・自施設単独の行事はないが、地域の方が見学に来てくれる。知ってもらえたことで、散歩中など声をかけてもらう機会が増えた。 	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、BCPに基づいた訓練が必要
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にお薬手帳を確認したり、発作時に使用する頓服薬を預かっている。有効期限内に注意し、保管させてもらっている。 	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から聞き取りしている。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	0			

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	1	・ヒヤリハットがあれば、必ず共有し、再発予防を図っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	1		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹はうす松江		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 18名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	積極的に入浴支援を実施できている。	足浴可能な手作りストレッチャーを使用している。	ひきつづき安全に入浴支援に取り組めるよう、点検や2人介助などを徹底していく。
2	研修への参加方法が選択できる。	WEB参加や録画視聴など研修の履修や復習ができる環境である。	研修での学びや感想をスタッフ間で共有し、興味を引き出すなど自己研鑽につながる支援を事業所全体で取り組む。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用時間によっては、入浴支援で時間が限られてしまうことがある。	入浴支援は家族の希望でもあるため、希望にそって支援は、安全に継続していきたい。	これまで以上に限られた時間の中で、成長発達を促すため、保育士を中心に製作や屋内活動の計画的に取り組んでいく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 幹はうす松江

公表日 2025年 2月 14日

利用児童数

3名

回収数

3名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1			2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	3					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	1		1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	1			脳性麻痺のため
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	1			脳性麻痺のため
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	幹はうす松江		公表日		2025年 2月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	0	・利用児の増減に対し、直前までスタッフの調整がされている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	2	・あえてバリアフリーにはせず、普通の戸建てとして利用している。 ・段差などの対応は工夫している。 ・絵や図での明示がある。	・普通の住宅でバリアフリー化できていないので、危ない場面もある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	3		・PDCAサイクルを自分自身が理解できていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	・ノートや話し合いをしている。 ・毎年、保護者の意見調査をまとめ、スタッフの配布されている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	・申し送りノートの活用	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		・第三者評価は受けていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0	・外部だけではなく、職員からも専門的な話をきくことができる。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	・日々、かかっている保育士も参加し、書記をしながら情報共有していた。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	・計画書は印刷し、個人ファイルに保管されており、スタッフはいつでも見れる場所にある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	0		・自分自身が標準化されたツールを用いたツールを理解できていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	1	・保育士を中心に指導員、看護師の意見を参考にしている。	・利用時間が限られる時は、入浴が中心のかかわりになっている。

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	1	・行事や季節により、活動内容が異なっている。 ・社会見学や遠足もある。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	0	・朝一、利用児の処置の確認や保育士に利用中の流れの確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	1	・申し送りノートの活用	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	14	2	・通所日数が少ない児や利用時間が短時間の児もいるが、努力できている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	1	・何がしたいか、何を食べたいか、本人に確認している。 ・子どもが選択することが困難な児は、両親の協力を得ている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	17	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	2		・具体的な情報は知らない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			・対象者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	1	・愛徳と連携 ・別事業所と連携 ・見学に来た方に意見をもらっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	4	・秋まつりを開催	・感染などの状況にもよるが必要性はある。 ・利用時間が短時間のため、中々時間が取れない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	3	・法人で出席	・該当なし
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	0	・連絡帳の活用 ・必要に応じて、その都度情報共有している。 ・散歩やお買い物体験をして、地域との交流をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	1	・研修のお知らせをしている。	・あまり機会がない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場として、イベントや幹カフェなどがある。 ・秋まつりでの交流 ・きょうだい同士で交流する機会はないが、秋祭りを開催することで、家族で出会う機会はある。 	・保護者間のつながりは少ない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	17	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・秋まつりには地域の方も参加してくれている。 ・散歩で近隣住民の方々と挨拶をかわし、交流を深めている。 ・防災訓練について、公開研修を実施し、地域の方と情報共有できた。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	17	0		・今後は、BCPに基づいた訓練が必要
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にお薬手帳を確認したり、発作時に使用する薬を預かってる。 ・頓服薬の期限に注意し、保管させてもらっている。 	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、おやつは持参 ・保護者から情報収集している。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	17	0			